

令和 8 年熊本地震に係る
第 12 回政府非常災害現地対策本部会議
第 19 回災害対策本部会議 議事録

日時：令和 8 年 8 月 9 日（日） 16：00～

会場：県庁防災センター 2 階 災害対策本部会議室

1 開会

2 議事

（1）今後の気象の見通し

別紙「気象台資料」により説明（熊本地方気象台）

（2）県からの報告

別紙「各部説明資料」により説明（各部長等）

（3）国からの報告

①経済産業省

引き込み線を原因とする停電については、相談・受付窓口を設置して対応しており、現在の問い合わせ件数は 1 日あたり一桁台まで減少。引き続き窓口で相談を受け付け、連絡があった場合は、当日中の解消を目指して対応していく。また、都市ガスについては、八代市街の一部で約 3,600 戸が使用できない状況だが、来週中には復旧する見込み。中小企業をはじめとする産業関係の支援については、熊本県が実施している被害状況の調査結果も踏まえながら、具体的な支援策の検討を今後加速して進めていく。

②国土交通省

全国から国土交通省の TEC-FORCE が集結し、被災状況の調査に加え、給水やトイレなどの応急対策に関する支援を実施。本日は、八代市や氷川町など 5 市町において、約 180 人が給水支援や被災状況調査などの活動を行っており、これまでの活動規模は延べ約 2,600 人に達している。今後も、被災地の声を踏まえながら、必要な支援活動に取り組んでいく。また、道路関係については、九州自動車道の緊急車両の通行可能区間が八代インターチェンジまで拡大。引き続き、今週中には残る区間も含め、九州自動車道全線で緊急車両が通行可能となる見込み、一日も早い通行確保に向けて取り組んでいく。

③自衛隊

防衛省・自衛隊からは、9 日に病院を含む 24 か所で給水支援を実施しているとの報告。また、建設業界による家屋へのブルーシート展張作業への補助支援は終了し、5 市町の福祉施設 18 か所へ飲料水約 1,200 箱の輸送も完了。入浴支援については、小川防災拠点センターや宇土市役所で再開し、三角港、氷川中学校でも継続。前日は約

670 名が利用。本日は八代港での支援も再開予定ですが、火の君文化センターは強風のため中止。

(4) 関係機関からの報告

①緊急消防援助隊

前日に引き続き、救急隊による被災地での救急活動支援を実施。また、DMAT と連携した搬送支援に加え、避難所や宿泊している被災者に対して熱中症予防に関する普及啓発を行っており、今後もこれらの活動を継続していく。

②日本赤十字社

避難所におけるプライバシー確保の質を高めるため、本日からアセスメントを強化している。今後、各避難所の状況を確認したうえで、必要に応じてパーテーションやテントなどを活用し、避難者の生活環境の改善を進めていく。また、宇土アリーナでは、テント内に段ボールベッドを設置するなど、プライバシーに配慮した取組が進められている。

3 災害対策本部長（木村知事）からのコメント

別紙「本部長（知事）コメント」のとおり

4 政府現地対策本部長（古川政務官）からのコメント

金子国土交通大臣とともに宇城市の応急仮設住宅の建設現場を視察。現場では、住環境の向上やコミュニティ形成に配慮した仮設住宅団地の整備が進められており、県産木材や熊本県産の畳表を使用するなど、熊本らしさにも配慮されていた。政府としても被災者の住まいの確保に全力で取り組む。